

平成 27 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会及び春季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議
経営部会 部会長 仁平 恒夫

1. 趣旨

農林水産省「攻めの農林水産業」に基づき、新たな「食料・農業・農村基本計画」及び「農林水産研究基本計画」では、消費者ニーズや民間の技術開発ニーズに立脚し輸出拡大も視野に入れた新品種や新技術による強みのある農畜産物づくり、大規模経営における省力・低コスト生産体系の確立、民間の技術力の活用などにより従来の限界を打破する生産体系への転換等を支援する研究開発を推進することになっている。これらの実現のためには、生産現場に立脚することはもとより、現在又は将来の政策課題や社会問題から今後推進すべき課題を抽出するとともに、経営や地域のあるべき姿を展望した上で、それらを実現できるプロジェクトを策定し、早急な社会実装を目指す必要がある。その中で経営研究は社会と技術を繋ぐ重要な役割を求められている。そこで研究会では、水田作を事例にしながら、新たな経営研究の方法であるバックキャスト・アプローチによる技術評価をどのように実施していくかを検討する。また、経営部会及び個別報告会では、各機関の研究成果及び研究の推進方向等について検討する。

2. 開催日時 平成 27 年 7 月 16 日（木）13 時～7 月 17 日（金）16 時

3. 開催場所 中央農業総合研究センター 大会議室（16 日）
農林水産技術会議事務局筑波事務所 3 階第 1、第 2、第 10 講義室（17 日）

4. 議 事

1) 研究会 7 月 16 日（木）13 時 00 分～17 時 15 分

テーマ 「バックキャスト・アプローチによる技術評価の方法」
座長 梅本 雅氏（中央農業総合研究センター）

第 1 部 シンポジウム

第 1 報告 「米市場の変化からみた水田農業の方向と技術開発課題（仮）」
宮武 恭一氏（中央農業総合研究センター）

第 2 報告 「「経営展望」の実現に向けた線形計画モデルによる技術評価の到達点（仮）」
松本 浩一氏（中央農業総合研究センター）

第 3 報告 「バックキャスト・アプローチによる技術評価手法の体系（仮）」
門間 敏幸氏（中央農業総合研究センター）

第 2 部 パネルディスカッション

「県の試験研究・普及指導の観点からみた水田農業の方向性と技術開発課題」
報告

「茨城県における水田農業の方向性と技術課題（仮）」 草野 謙三氏（茨城県）

「新潟県における水田農業の方向性と技術課題（仮）」 渡邊 喜芳氏（新潟県）

「長野県における水田農業の方向性と技術課題（仮）」 大久保 高典氏（長野県）

パネラー：第 1 部、第 2 部報告者

2) 個別報告会 7 月 17 日（金）9 時～12 時

3) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 7 月 17 日（金）13 時～16 時

- 議事
- 1) 平成 26 年度の研究成果について
 - 2) 平成 27 年度の研究の推進方向について
 - 3) 平成 27 年度秋季研究会及び推進部会の開催について
 - 4) その他

5. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先（別紙申込書送付先）

中央農業総合研究センター農業経営研究領域（担当：河野恵伸）
茨城県つくば市観音台 3-1-1 TEL：029-838-8422 FAX：029-838-8441

7. その他

7 月 17 日午後の関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会は経営部会関係者のみ。